

学校法人村上学園高松高等予備校



香川県 教育・学習支援業(学校教育)

経営者の声

理事長

村上 良一さん



16年ほど前、九州の障害者支援施設の理事長から頼まれ、知的障害者を受け入れることにしました。私とその施設の理事を務めていたこともあり、「やってくれないか」ということでした。他の企業では引き受けにくいと思われる方々を受け入れることにしました。

「何とかしてやらないと」という気持ちと「社会で役立つように」という気持ちで取り組んでいます。

本校には生徒のための寮があるので、その寮で本人たちの衣食住をまかない、生活支援を行っています。皆、本当に純粹です。寮長さん、寮母さんをはじめ、職員は皆、本当によくやってくれるので、とても助かっています。忍耐強く教えていくことが大切だと考えています。最近、特別支援学校からも実習生を受け入れており、新しく採用した職員たちは自宅から通勤しています。障害者雇用にとって、私は「奉仕」の精神が大切だと考えています。本人のいいところを見ながら、一人ひとりが奉仕の気持ちを持ってくれたら、障害者雇用は進むと考えています。

職務内容と工夫

1

マンツーマンで指導し、頻繁に声をかける

障害のある職員だけでなく、全員に対して礼儀・挨拶・社会常識・時間厳守(10分前行動)を指導している。障害のある職員に対しては、配慮はするが特別扱いはしない。

西田英二さんの担当業務は館内清掃、トイレ清掃。この寮に来て16年が経過した。



2

様々なことをやらせよう。 最初は簡単なことから。

大高尚子さん(入社3年目)は、特別支援学校では清掃しか習っていなかったが、採用後は寮母さんの指示の下で調理補助を担当している。

時間をかけて習熟していくことを目指している。「楽しく仕事をすることができています」とのこと。



末永昭一さんも、この寮にきて16年が経過した。担当業務は草刈り、館内清掃。「これからもこの寮で、仕事をしていきたい」

ポイント

- ①「コミュニケーション」を大切にして、職場定着を図る
- ②マンツーマンで支援し、頻繁に声をかける
- ③様々なことをやってもらう。最初は簡単なことから

雇用管理担当者の声



総寮長 石井 孝明さん

休日には一緒に買い物に行ったり、大阪のテーマパークに行ったり、障害のある職員の結婚の仲人もやったこともあります。「中途半端なことはしない」、「最後まで面倒をみる」という気持ちで取り組んでいます。

ご家族とも緊密に連携しています。また、本人の将来のことを考え、年金で

生活できるよう給与、貯金、私学共済、保険等の世話もしています。寮生にも、障害のある職員にも、みな「平等」を心がけ、生活習慣の細かい部分まで全部、支援しています。寮長というのは空気のような存在でいるのが一番いいと思っています。

現場担当者の声



屋島寮寮長 森下 誠司さん

寮生たちや、障害のある職員たちと毎日、寝食をともにしています。最初は簡単な仕事をやってもらいますが、本人が持っている能力を、最大限に発揮させてあげたいと思って取り組んでいます。「親代わり」という気持ちで取り組んでいます。

必要な時には注意することもありま

すが、本人の笑顔を見るのがうれしく、上手にできたときは、「できたんや!」と言って一緒に喜びます。時間が経過すると習熟していくものだと考えています。頻繁に声をかけ、声に出してはつきりと伝えることに気をつけています。

従業員の声



勤続3年目 松岡 大地さん

仕事は楽しくやっています。寮長さんはやさしいです。休日は友達と一緒に

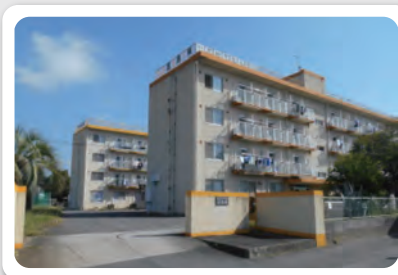
に遊んだりしています。このまま、ここでがんばっていきたいです。

活用した制度 特になし

活用した支援機関 特になし

労働条件等:週36~40時間勤務、正社員

法人データ



学校法人 村上学園高松高等予備校

- 所在地…………… 香川県高松市
- 従業員数…………… 160人
- 障害者雇用者数… 6人
- 障害種別…………… 知的障害、身体障害
- 事業内容…………… 予備校